学校番号	３０８

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎「気づく力　築く未来」　（実教出版）						
副教材等	家庭科資料集　LIFE　おとなガイドデジタル＋　（教育図書出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自立した生活に向けてこれから必要となっていく知識・技術を学び、しっかりと定着させましょう。そのために、頭も体も積極的に動かしましょう。

・生活の充実向上を図るための知識は、基礎的な内容から理論もしっかりとおさえて学習し、身に着けていきます。
・基礎的な知識をしっかりと定着させるためにも、生活の様々な現象や、生活上の課題について、ワークショップや実習などを通して考え、理解を深めていきます。
・身に着けた知識・技術は、しっかりと実生活で役立てながら、定着させていきます。実生活で使いながら、新たな課題を発見、解決し、よりよい生活を目指していきます。

卒業後も、自立した生活に向けて、必要な知識・技術を使い、また学び続けていけるよう、一年間しっかりと準備していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自立した生活に向けて基礎的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族･家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる発達と非常時なども含めた生活の営みを総合的に捉え，家族･家庭の意義，社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族･家庭，衣食住，消費や環境などについて理解し，技能を身につけている。	生涯にわたる発達と非常時なども含めた生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解し，技能を身につけている。	習得した知識・技術を、実生活に生かし，家族や地域の人々と協働して生活する中で発見した課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，自分や家庭，地域の生活の充実向上を目指し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい生き方と家族	・生涯発達 ・人生のデザイン ・青年期の生き方 ・男女共同参画社会 ・家庭・家族と法律	a: 発達課題・生活資源について理解している。4つの自立について理解し、雇用形態・家事労働の意義など、様々な労働について多角的に理解できる。家族に関する法律、人の一生にかかわる法律などについて知識が身についている。 b: 自分の適性について考え、自立へむけて課題を発見し，自身の将来について思考・判断することができる。法律と自分のかかわりについて理解し，よりよい生き方について思考・判断することができる。家庭生活・家事労働について話合い，課題が見つかれば改善するなど、よりよい方法について思考・判断できる。 c: 男女共同参画社会など，現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。成年年齢の変更や理由，権利と責任などについて，考えようとし、18歳成人の意義を適切にとらえて準備している。DVついての理解を深め，自分が加害者にも被害者にもならないようにするためにはどうしたらよいか，考えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 課題	授業観察 ワークシート 振り返り レポート 課題

	子どもとかかわる	・子どもの誕生 ・子どもの発達 ・生活習慣と健康 ・子どもの食生活・衣生活 ・子どもと遊び ・親になることを考える ・健やかに育つ環境と支援 ・子どもを守る法律・制度	a: 誕生から幼児期までの子どものからだ，運動機能，知的な発達について理解する。子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることが理解できる。 遊びの意義と形態を理解し，遊びは子どもの発達にとって重要なものであることを理解する。生命の尊さ，子育ての意義について理解することができる。 子どもの人間形成には，保育者やまわりの人とのかかわりが重要であり、子どもの発達における豊かな人間関係や地域環境・社会環境の重要性，福祉について理解できる。 b: 今の 10 代の健康が，子どもの命にかかわっていること、妊娠の成立から誕生までを理解することにより，現在の過ごし方について正しく思考・判断できる。 c: 積極的に、妊婦体験・子どもの視野体験・保育人形体験に取り組み、課題を自ら見出している。 子どもの豊かな人間形成のために，どのように環境を整えていくべきかについて興味を持って知ろうし、積極的にできることから実践していこうとする態度がある	定期考査	定期考査 ワークシート レポート課題	授業観察 ワークシート 振り返り レポート課題

2学期	高齢者とかかわるる	・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢者のサポートと介護 ・高齢社会を支えるしくみ	a: 加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し，その変化については個人差があることも理解できる。高齢者にとって家族とはどのような存在なのか，高齢者の経済状況や社会参加状況などについて理解を深めることができる。高齢期に関する制度，特に介護保険についてなぜこのような制度が必要なのかを理解し，また，高齢社会を社会全体で支えるしくみを理解することができる。 b: 理解した高齢者の症状と接し方をもとに，相手のことを理解し，支えられる側から，支える側になっていくために必要なことについて、思考・判断できる。 c: 自身の高齢期までに必要な準備、高齢期の過ごし方について自身のこと，家族のことと結びつけながら考え、積極的にできることから実践していこうとする態度がある。高齢者体験に積極的に取り組み、自ら課題を見出している。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート課題	授業観察 ワークシート 振り返り レポート課題

	衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ・健康で安全な衣服 ・衣服素材の種類と特徴、性能と改善 ・衣生活の計画と購入 ・衣服の管理 ・家庭での洗濯・保管 ・持続可能な衣生活をつくる	a: 衣服は年齢によっても必要とされる要素が違うということを理解し、健康と安全に配慮した着装について理解できる。 繊維の種類と特徴と用途、織物・編物の種類や構造が理解でき，衣類の入手から処分まで，計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 衣服を購入する際の表示の見方，洗濯する際の表示の見方がわかる。衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身につけている。 湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の種類や，洗剤のはたらきについて理解できる。 衣類の製造には，多くのエネルギーが使われていることを知り，衣類と資源についての関係が理解できる。洗濯の環境への影響，廃棄処分における環境への影響を考え，リユースなど，環境に配慮した衣生活につなげることができる。私たちの衣生活が世界規模で営まれていることを理解できる。 b: 快適な衣服の着心地を考え、購入の際には，表示から必要な情報を読み取り、適切なものを選択できる。 すでに学んだ知識を活かし，適切な洗濯や手入れができる。衣服管理において適切な判断ができる。ファストファッションの問題点を把握し，自分の行動を見直すことができる。 c: 実習に意欲的に参加し、自ら技術を習得する努力をしている。 被服管理を実際に行い、自ら課題を発見し、よりよい方法を見出すことを意欲的に行っている。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート課題	授業観察 ワークシート 振り返り レポート課題

3学期	食生活をつくる	・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素 ・その他の食品 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・食事摂取基準 ・食品群別摂取量の目安 ・献立作成 ・調理の基本	a: 生活習慣病，摂食障害，月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。 栄養素についての人のからだの中での働き，人のからだの成分について基礎的知識を習得できる。 調味料，香辛料，嗜好食品の種類と特徴について理解できる。 特別用途食品等の種類と特徴，表示などについて理解できる。 食中毒の種類や予防法について理解する。食品添加物の種類やその使用の目的について理解する。 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 調理に関する基本的な調理技術を身につけ，実際に調理ができるようになる。 b: 食品の旬や選択する際に必要な品質表示の見方，また，選択する際のポイントをもとに，食品を適切に選択することができる。 食品と栄養，調理との関係において，科学的な視点をもって，知識を深めようとし、自分に必要な献立を考え、食品ロスなどにも配慮した食生活を考えられる。 食中毒や食品添加物などの知識をもとに、安全で衛生的な調理や食事管理ができるようになる。 調理実習において，作業の流れを考え，効率について判断しながらとりくむことができる。 食事マナーを身につけ，楽しく食事することができる。 c:	定期考査	定期考査 ワークシート レポート課題	授業観察 ワークシート 振り返り レポート課題

	住生活をつくる	・平面計画からみた住空間 ・ライフステージと住まいの計画 ・健康に配慮した住まい ・安全な住まい ・持続可能な住まい ・これからの住まい	a: 平面図が読み取れるようになる。個人生活・家事労働・共同生活・生理衛生，それぞれの空間においての機能を理解できる。 日照・日射・採光・照明，通風・換気，騒音，冷暖房など，健康的な住まい環境における基本的な知識が身についている。 自然災害，人為的な災害とその対策について理解できる。 b: 空間に自分で適切な家具などの配置が決定できる。不動産広告から正しい情報を読み取り，判断できる。 ライフステージに応じた住まいについて思考・判断することができる。住まいの清掃やメンテナンスについて理解し，快適な生活につなげることができる。 自然災害，人為的災害に対して，防災・減災・防犯対策を講じることができる 将来どのような家に住みたいかシミュレーションし，よりよい住環境について思考することができる。 c: 住まいにおいて，危険箇所を見つけるなど課題を見つけ，改善に向けて積極的に取り組もうとしている。	定期考査 実技課題	定期考査 ワークシート レポート課題	授業観察 ワークシート 振り返り レポート課題

	経済的に自立する	・日々の収入・支出を把握する ・社会と家計の変化 ・長期的な経済計画を立てる ・経済の中の家計	a: 家計の構成がわかる。収入と支出の種類と特徴がわかる。近年の家計の特徴について理解できる。給与明細の読み方がわかる。保険や金融商品などの種類や特徴について知識が身についている。 b:経済的な自立に向けて，長期的な経済設計が立てられるようになる。給与の使い方をシミュレーションし，思考することができる c:家計管理の重要性を理解し，ライフイベントや生活のリスクをもとに、意欲的に将来設計を立てようとしている	定期考査	定期考査 ワークシート レポート課題	授業観察 ワークシート 振り返り レポート課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度